



**愛知県内6団地における地域医療福祉拠点形成に向けた取り組みの着手と  
名古屋市緑区とUR都市機構の包括協定締結について**

UR（独立行政法人都市再生機構）では、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」を目指し、団地を中心として住み慣れた地域で最期まで住み続けることができる環境（Aging in Place）を実現するため、地方公共団体等の地域関係者と連携し、地域医療福祉拠点の形成に向けた取り組みを総合的に推進しております。

中部支社では、昨年度（1団地）に引き続き、今年度新たに、次の6団地において地域医療福祉拠点形成に向けた取り組みに着手いたします。

	団地名等	所在地
1	鳴子 (アーバンラフレ鳴子)	愛知県名古屋市緑区
2	岩倉	愛知県岩倉市
3~6	藤山台、岩成台、高森台、中央台 <高蔵寺ニュータウン内の4団地>	愛知県春日井市

また、取り組みに際して、多様化する地域課題に対応していくため、地方公共団体とURが相互に協力して持続可能な地域社会づくりに取り組むことを目的とした包括的協定を、既に岩倉市及び春日井市との間で締結しております。

さらに、今回の公表にあわせて、両市に加え、名古屋市緑区との間においても、連携協力に関する包括協定を締結し、団地を中心とした地域医療福祉拠点の形成を推進してまいります。

お問い合わせは下記へお願いします。

中部支社 住宅経営部 ストック再編事業チーム

(電話) 052-968-3396

中部支社 総務部 総務チーム

(電話) 052-968-3305

## 1 地域医療福祉拠点の形成の推進について

URでは、「多様な世代がいきいきと住み続けられる住まい・まちづくり」を目指し、団地を中心として、住み慣れた地域で最期まで住み続けることが出来る環境(Aging in Place)を実現するため、地域の医療福祉拠点の形成を目指し、以下の取り組みを、地方公共団体、自治会等の地域関係者等と連携して総合的に推進します。

### ① 地域における医療福祉施設等の充実の推進

- ・安心して住み続けられるための在宅医療・看護・介護サービス等が受けられる生活環境の整備をめざし、地域において不足する施設等の誘致又は団地外も含めた既存施設等との連携

### ② 高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進

- ・安全に住み続けるために必要な高齢者向け住宅の整備 ほか

### ③ 若者世帯・子育て世帯等とのコミュニティ（ミクストコミュニティ）形成の推進

- ・多世代交流や相互の支え合いが可能な場・機会の提供等 ほか

地域医療福祉拠点の形成に向けた取り組みは、平成32年度までに全国で100団地程度において取り組んでいく予定です。

なお、具体の取り組みは、団地や地域の特性等を踏まえて実施していきます。

## 2 名古屋市緑区とUR都市機構の包括協定の締結について

### 1) 目的

名古屋市緑区とUR都市機構は、包括的な連携の下、少子・高齢化の進展、ノーマライゼーション理念の広まりなど社会環境が大きく変化する中で多様化する地域課題に対応していくため、相互に協力し、持続可能な地域社会づくりに取り組むことを目的とします。

### 2) 概要

名古屋市緑区とUR都市機構は、目的を達成するため次の事項について連携協力します。

- ① 安心・安全で快適なまちづくりに関すること
- ② 協働によるまちづくりに関すること
- ③ 子どもの健やかな育ちを支えるまちづくりに関すること
- ④ 人にやさしい福祉・保健のまちづくりに関すること
- ⑤ その他両者が協議により必要と認めたこと

### 3) 協定調印式の案内

日時 平成27年12月2日(水) 11:30～

場所 名古屋市緑区役所(名古屋市緑区青山2-15) 区長応接室

出席者 名古屋市緑区長 柵木 厚(ませぎ あつし)

独立行政法人都市再生機構中部支社長 渡辺 恵祐(わたなべ けいすけ)  
以上